

町田ヒューマン ネットワーク news

2024.12.25 No.157 メルマガ第3号

まちだひゅーまんねっとわーくにゅーす 2024/12/25 だい157ごう めるまがだい3ごう
町田ヒューマンネットワークニュース 2024/12/25 第157号 メルマガ第3号

【イベント参加のご報告】

●秋の外出イベント ～江の島散策～

かいじょしょくいん よしだ あきひろ
介助職員：吉田 明弘

10月26日、江ノ島散策のイベントに参加しました。

当日は介助者として参加したのですが、私自身遠出のイベントに参加することが初めてで、一体どのような雰囲気の中、集団行動するのだろうと期待と不安を感じておりました。

勤務開始時間の兼ね合いで集合時間には間に合わず、江ノ島水族館前で合流、男性陣5名、女性陣6名、計11名の参加で、自己紹介の後に水族館へ。始めは何となく一緒にいて行動しな
くてはならないかと付いて行きましたが、イルカショーの観覧後は
おのおの自由に行動していました。後から聞いた話だと女性陣の
皆様は巨大水槽の前でかなりの時間まったりされていたり、水族
館を切り上げて海岸沿いを散策されている方もおりました。私達
も水族館を出て栈橋まで散策し、集合時間まで皆が自由に過ごされていました。



↑巨大水槽！！

駅前で解散となり、その日のイベントは終了となりましたが、思い描いたものと違い驚きました。タイムスケジュール通り行動し、混雑する水族館で、はぐれないよう展示物を見るより、集団行動を優先して疲れとストレスを感じるものだと決めつけていましたが、蓋を開けてみれば集合と解散だけは集まって、後は御自由でどうぞと言うノリで利用者のペースの中、仲間内で楽しく過ごすことができました。また、参加することはできませんでしたが、水族館に行く前に有名なパンケーキ屋で皆でランチを楽しんだとの話も伺いました。

参加する前は同じ場所に行くなら一人で行ったほうが気楽だし、行動も制限されないからと否定的な気持ちで

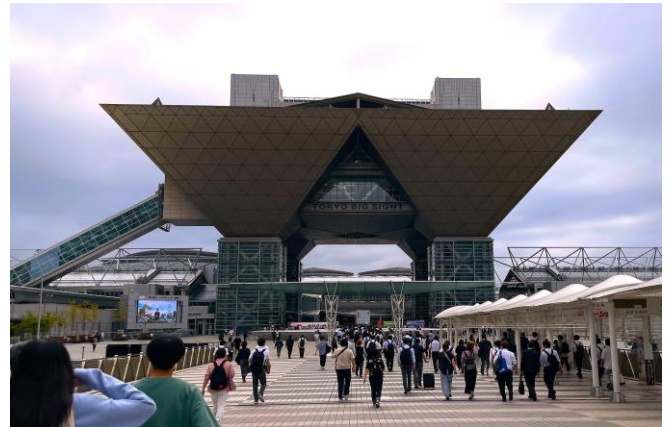
したが、お互いのペースで仲間内でワイワイ楽しみ、日々の介助では直行直帰、利用者と一対一の環境が多い中、普段関わらない方（特に女性陣）と交流ができたりと有意義で、このようなイベントに参加するのも良いものだと感じた1日でした。

●介助者勉強会 ～国際福祉機器展見学～

介助職員：小松宏行

10月3日、今回初めて国際福祉機器展を観覧させていただきました。会場の印象はとても活気があり、他の来場者も真剣な様子にも見え、少し緊張感もありました。とにかく会場の広さと出店会社の多さに圧倒されました。各ブースの中に入り、実際に器具の説明を受け、体験してみて感じたのは、もちろん機能性も想像以上で感動したのですが、安全で安心して介助ができるという点と、利用者と介助者双方の身体にかかる負担が軽減されるといった印象が多かった点です。

特に印象に残っている器具は、帰り間に試着したボディスーツでした。サッと着れて、スイッチを入れると背中に空気が入り、重力を反発してくれるというもので、5キロ程のビールケースも簡単に持ち上がったのにはとてもビックリしました。実際の介助場面



有効的だと思ったのは、ベッド上での中腰体勢での長時間の介助と、移乗介助の際ではないかと思いましたが、今回着用したボディスーツは背中や腰部に入っている空気圧により、前屈みの状態を反発してくれるので、体勢維持が楽で背中と腰にかかる負担や疲労度が軽減されるのではないかと感じました。また移乗介助の際にも瞬発的にかかる重さが、ボディスーツに入っている空気圧によりクッションのような役割をしてくれるので、身体へかかる瞬間的負担を和らげる事が出来るのではないかと感じました。

今回こういった機会に誘って頂きました事、貴重な体験をさせて頂きました事で、国際福祉機器展に来場していた方々の真剣に取り組む姿勢を目にし、とてもよい刺激を受けました。また是非機会がありましたら来場したいです。



「町田市障がい者差別をなくし誰もがともに生きる社会づくり条例」が施行されました。

2024年10月1日「町田市障がい者差別をなくし誰もがともに生きる社会づくり条例」が施行されました。これは、国の障害者差別解消法、都の障害者差別解消条例に準じ、市独自の条例を制定したものです。

※概要版リンクはこちら（郵送の方には同封しています）

https://www.city.machida.tokyo.jp/iryosyougai_hukushi/syougaitorikumi/sabetukaisyoujourei.files/leaflet.pdf

制定に当たっては、当法人の副理事長、堤も委員として参加した「障がい者差別解消条例検討部会」で1年間（準備会も含めると2年間）に渡って議論を重ねてきました。さらにMHN開催の「利用者交流会」でも複数回にわたって議論し、パブリックコメントに意見を提出し、条例に反映させてきました。

条例では、行政、事業者、市民にそれぞれ差別解消に向けての取り組みや協力の「責務」を記しているほか、障害当事者にもその「役割」として「障がい者等は、社会的障壁を適切に除去するため、障がいを理由とする困難又は必要な配慮の内容について発信し、配慮しようとする者と共有するよう努めるものとする」（第7条）と記されていることが、特徴の1つとなっています。

つまり、障がい者自身も差別を受けた体験を積極的に発信していくことが求められているのです。

差別の申し立てがあった場合、市が調査を行ない、必要に応じて「町田市障がい者差別解消調整委員会」を開催し、助言、あっせん、勧告を行ないます。正当な理由なく勧告に従わない場合は、事業者等の公表が行なわれます。

相談窓口は、障がい福祉課または各支援センターの窓口です。

※この条例についての詳細は、町田市ホームページの以下のサイトを参照してください。

https://www.city.machida.tokyo.jp/iryosyougai_hukushi/syougaitorikumi/sabetukaisyoujourei.html



かいぎたいしょうかい 【会議体紹介】

MHNではヘルパー派遣を活動の中心に起きつつ、16の各会議・業務チームで日常のさまざまな業務を分担しています。今号では前号に引き続き、5つの会議・業務チームをご紹介します（前号では、⑦～⑪の会議体を紹介しました）。

⑫交通関係会議

通勤、業務移動に関する事柄を検討する。主に職員が加入している自動車（自転車）保険の確認、事務所所有の自動車、自転車の管理と、安全運転啓発を定期的に発信する。

・メンバー：中谷（リーダー） 清水・廣瀬

⑬特定事業所加算会議

介助計画の管理、特定事業所加算の書類整備、キャリアパスに関わる介助者勉強会の開催（Eケアラボを利用したオンライン開催のもの）、登録ヘルパーへ健康診断受診の呼びかけ、虐待、身体拘束に関わる事項について検討する。

・メンバー：宇野（リーダー）・内藤・廣瀬・西田

⑭資格研修会議

重度訪問介護従業者養成研修（通称20時間研修）の開催、喀痰吸引等研修を外部で受ける際のとりまとめ、他資格研修情報の集約を行う。町田市との関わりとして市民大学への講師派遣、開催協力も担う。

・メンバー：大井（リーダー）・芦原・堤・流川・福田・中谷

⑮安全衛生実務者会議

衛生にまつわる実務を行う会議。社保加入者の健康診断、傷病手当金等の申請の業務、労災手続き、業務保険管理。リスクアセスメント会議や災害時派遣継続会議と協働し、衛生管理の業務に滞りがないよう呼びかける。衛生委員会に報告を行う。

・メンバー：廣瀬（リーダー・衛生管理者） 宇野・小島・田中（ゆ）

⑯虐待防止委員会

障害者虐待防止法に基づき設置されている委員会。運営会議のメンバーが委員会メンバーを兼ねている。虐待、または虐待と思われる出来事を見聞した場合は、町田市に通報するとともに、事実確認、検証、及び虐待の再発を防ぐ方策を検討し、実施する。

・メンバー：笠井・田中（ゆ）・堤・内藤・廣瀬・鈴木・流川



【おしらせ】

◆MHN の活動の一つである、自立生活体験室が、11月6日付朝日新聞夕刊の社会面で紹介されました。
以下のリンクからも記事がご覧になれます。(要登録 ※1ヶ月間無料)

<https://www.asahi.com/articles/DA3S16077974.html>

◆NHK Eテレの番組「バリバラ」より、阪神・淡路大震災（1995年）「その時障害者はどのように動いたか」をテーマとして取材を受けました。当時MHNでも被災地にヘルパーを派遣したり、障害者スタッフを「生活コーディネーター」として派遣したりしました。来年の1月9日(木)20:00~20:30(再放送は12日(日)0:00~0:30)、Eテレにて放送予定ですので、ぜひご覧になってください。

◆インスタグラムはじめました！

従来のfacebookに加え、instagramでも情報を発信しています。ぜひのぞいてみてくださいね！！

https://www.instagram.com/mhn_mylife?igsh=cmVxOWVoZHFucHRv



【編集後記】

2024年も残り僅か。このMHNニュースもメールマガジン形式が主体となり、そろそろ板についてきたところ。会議体の紹介も一通り終わりましたので、今後は活動報告をメインに、様々な情報を発信してまいります。

今後とも宜しくお願いします。

特定非営利活動法人 自立生活センター

町田ヒューマンネットワーク

〒194-0013 東京都町田市原町田 2-22-26 1F TEL : 042-724-8599 / FAX : 042-724-7996

URL : <https://www.cil-mhn-enjoy.com/> MAIL : mhn89@nifty.com

HP →



お問い合わせ →



nrk